

全員協議会 会議録（要点筆記）

平成30年9月21日（金）

午後 1時30分 開会

午前 2時 2分 閉会

場所 : 全員協議会室

〔報告案件〕

1 半田更生保護サポートセンターの開設について

新村隆福祉部長：資料に基づき説明

加藤美幸議員：更生保護サポートセンターの開設ということはとてもいいことかと思いますが、これまでに団体のこのような社会的団体の施設としては、例えばアイプラザですとか、雁宿ホール内にあったかと思うのですが、この半田市役所に設置するということに至った理由はどのようなことでしたでしょうか。

新村隆福祉部長：実際のところ、アイプラザ、他の施設等もあっております。そういったなかで、保護司会の活動の更なるPRであったりとか、目立つ場所に少しでも置きたいということと、あとやはり若干敬遠されがちな施設になることも予想されることから、市庁舎内での設置しかないというふうに判断したものでございます。

加藤美幸議員：施設を、部屋をお借りするというで、例えば家賃だとかそういうことは発生するのでしょうか。

新村隆福祉部長：賃料につきましては、今年度までは法務省の方から費用の負担がありました。ただ、31年度からについては出ないというふうに聞いております。あと光熱水費に関しては、国の方から補助が出ますので、設置される備品についても初期の費用について法務省の方から援助されるというふうに聞いております。

2 第3回常滑市・半田市医療提供体制等協議会について

竹内甲司病院事務局長：資料に基づき説明

中川健一議員：10月末までに経営統合するのかどうかを決めなければいけないという話でしたが、それまでに市民へ説明をする時間というのを作ることができますでしょうか。

竹内甲司病院事務局長：10月末までということになりますと、少し難しいかと思っています。

中川健一議員：本来は少し先延ばしをしてでも市民に説明を事前にする機会を作った方がいいと思いますが、開院が平成37年でなければいけない、いわゆる先延ばしができない理由とは何だったのでしょうか。

竹内甲司病院事務局長：やはり現病院の耐震性のないというところが一番の問題で、いつ起こるかわからない南海トラフ巨大地震に対処するためには一刻も早く建てるのが重要だと考えております。

山本佳代子議員：知多半島中南部における必要病床数と供給数なのですけれども、これは絶対的に回復期と慢性期が少ないということは認識されているわけな

のですけれども、これについて他の病院との協議とか、そういうことはいつになったら始まるのか、現状というか、そういうやり繰りについての話し合いとかそういうものはどのようにされているのかということと、両病院における医師数及び機能分担案について、内科・総合診療内科の新設が半田市は外来、入院とも×になっているのですけれども、これについてはイメージができないので、そこら辺のイメージを教えてくださいということと、医師が絶対的に不足だということについて、どのように今後医師を増やしていくかということが一番課題となると思うのですけど、合計でいうと常滑と半田に今146人がこの分担案の中に入っていますけど、ここに緩和ケアがまだ医師がいなかったとか、感染症内科にいないということになりますと、やはりあと何人ぐらい確保しなければちゃんとした医療ができないのではないかとお考えなのか、その三点についてお伺いします。

竹内甲司病院事務局長：まず、急性期それから回復期の必要数と供給数のギャップについてどう検討していくかということですが、今常滑・半田の連携協議会の別のところで愛知県の地域医療構想に基づいて、知多半島の有床病院が協議会を持っておりましてこれらについて、もうすでに2回ほど開いたと思いますけれども、これらの病床のあり方についてどうしていくかということと協議する場を持っておりまして、まだ具体的な方向性だとかそういったものについては協議の場についたところですので特に方向性というのは出ておりませんが、別の場で協議をしていることとなっています。それから、内科・総合診療内科が半田市のところが外来、入院とも×になっているがということですが、内科というのは臓器別とか、いろいろ細分化されてきておりますので、特に総合内科というのが無かったとしても患者さんにはご迷惑をかけることはないというふうに思っておりますので、半田については置かないというふうなかたちになっております。それから、医師不足についてどう対応していくかということですが、例えば半田と常滑が統合することになれば、非常に医師にとって魅力のある病院になるのではないかとというふうに我々は思っています。そうすることによって医師にとって魅力のある病院にすることによって、例えば研修医をたくさん採る、研修後は大学の医局へ送り込むことによってさらにまた大学から医師が送られてくるというふうないい循環を生み出せたらというふうに思っております。そういった意味で病院の魅力を高めることによって医師を確保していきたいと思っています。ただ、何人ぐらいが理想かということについては具体的にはここでお示しできません。

山本佳代子議員：愛知県が全国で38位という非常に低いこの医師数があって、そこら辺について公立病院にもっと愛知県が予算なりをつけてしっかりとした医師の確保などが必要ではないかと思うのですけど、市長さんの愛知県への押し方だとかそういうことについてはどのようにお考えでしょうか。

榊原純夫市長：先ほど病院の事務局長から説明がありましたが、国も一つの単体の市町村で全てのことをまかなうのではなくて、圏域を作ってその圏域の中で医師数ですとかベッド数を確保するような方向性をとっております。愛知県に11の医療圏があって、そのうちの一つが知多半島医療圏になっています。ご指摘のとおり愛知県はまだまだ医師数は足りませんので、国ももう一度医学

部の定員を減らすような動きがありますが、これについて愛知県にも要望していきまし、全国市長会の中でも特に今日本の国の中においてもへき地医療に関する医師が足りないという現実がありますので、そのことも含めてトータルで医師の全体数の確保については、声をあげていきたいというふうに思います。

〔その他〕

- ・ 小中学校のエアコン設置の時期について

竹内功治議員：先日の全員協議会の説明では、設置の時期につきまして、まず来年の夏には小学校1、2年生、特別支援教室また中学校3年生までに設置して、その翌年に残りを設置するという説明があったかと思いますが、9月15日のはんだ市報の市長のサービスエースの記事の中では、体力の乏しい低学年児童や特別支援クラス、また、受験を控えた中学3年生のクラスから工事着工し、来年の夏には間に合うように全学年の教室にエアコンを設置します、というふうに書かれております。その後に機器の確保や工事業者の手配の心配はありますが、と続きますけど、この記事を読む限りですと来年の夏には全学年にエアコンを全教室に付けると読み取れるわけですが、その辺り教えていただけますでしょうか。

榊原純夫市長：前回の全員協議会の中でも、最大限の努力をして来年の夏までに全教室に付けられるように努力をしますということで、確か石川議員からそれは市長として最大限の努力をすることですねということを言われましたので、その旨サービスエースに書かせていただいたということでもあります。これは私の意気込みというか、取り組み姿勢を書かせていただいたということでもあります。

竹内功治議員：意気込みというふうでいうと、少なくとも市民がこれを読むと来年の夏には付けますよねというふうにとれてしまいますけど、今の市長の説明ですと意気込みですから、来年ではなくて次の年にいくことも十分ありますというふうで、少し乖離があるように思うのですがどういうふうに考えていますか。

榊原純夫市長：100%夏までにということは、私は業者でもありませんし、エアコンのメーカーでもありませんので、確約はできませんけども私として最大限、来年の夏までにすべての教室に付くように努力をさせていただくと、そのためにはしっかりやらせていただくという意味であります。

久世孝宏議員：すごくそういう発言は僕らとしては困ります。やはり市民から関心の高いことなので聞かれます。ではいつまでに付くのか2年間かけて付けるのだと、全員協議会では多分ここにいるだれもが2年間で付けるのだと1、2年生優先、中学3年生から付けていって、2年でということは石川議員が質問されたことに対しても、早ければ来年夏につくのだな、でもその後の言葉で32年の夏までにということを市長はおっしゃられているのです。だから、だけど早くいくなら早くできるというニュアンスと来年の夏までに付けます、でもごめんなさい間に合わないものは遅れますというのは全然違うことでもあります。市民へのいろんな説明というのは僕ら議員も市がやれない部分は一緒になって説明していろいろ理解を求めていく部分を担っていると思うのですけれ

ども、ぜひその辺りはご配慮というか、いろいろ注意をしていただいて、変わったのだったら変わったで、やはりその間に文教厚生委員会もありました。そのあったところでどういう説明があったかというのもしっかり覚えていないのですが、たぶんあの時の文教厚生委員会の委員のメンバーもほとんどがまだ2年だと思っておったと思うのです。だから、そういうことをぜひ、僕らも一緒になって説明をしていきますのでご配慮というか、いろんな言い方であるとか、変わったというなら変わったということを一言教えていただきますようお願いをします。

榊原純夫市長：私が説明不十分であったことはお詫びしますが、いずれにしても来年の夏までに全教室に付くように頑張らせていただきます。また、改めてしっかり説明させていただきますので、お詫び申し上げます。

午後 2時 2分 閉会